

社会福祉法人 京都光彩の会

光彩だより

利用者インタビュー

- ・京都市朱雀工房
- ・ワークステーションかれん工房

京都光彩の会後援会のご報告とお礼

社会福祉法人 京都光彩の会
統括施設長 中條 了

日々の支援の中でも「居場所」や「人とのつながり」に関するご相談を多く受けます。ご本人が安心して過ごすことのできる場所を起点として、そこから社会とのつながりができる、そのプロセスが社会全体で共有される社会はきっと誰にとっても暮らしやすい社会だと思います。

居場所の意義を考える時、そこには「自らの存在が肯定される安心感」という要素が不可欠です。つまり、居場所は単なる空間を意味するのではなく、人とのつながりの中で得られる安心感が必要になります。そして、それは特定の場所のみを指すのではなく、社会全体が多様性を受け入れる素地をつくっていくことにもつながります。

開催の賛否に揺れたオリンピックが終わり、今はパラリンピックの開催に向けて準備が進められています。「多様性と調和」を掲げた今回のオリンピックやパラリンピックでは、その理念として、全ての人がいきいきと暮らし活躍できる社会の実現が謳われています。果たして社会の意識は変わっていくのでしょうか。

「誰もが安心して暮らせる社会とは・・・」

巻頭言

令和3年夏号

・京都市朱雀工房（就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援）

・京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

・こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

・ワークステーション かれん工房（就労継続支援B型）

・相談支援事業所 こうさい（計画相談支援）

・西山高原工作所（就労継続支援B型）

・グループホーム賀陽、山ノ内、光（共同生活援助）

「2021夏のボーナスキャンペーン」のご協力ありがとうございました☆

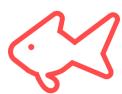
(朱雀・かれん・西山より)

当法人のボーナスキャンペーンの取り組みにご協力頂きありがとうございます。心より感謝申し上げます。

ボーナスキャンペーンで得られた利益の全てをメンバーさんに還元していますが、コロナ禍で工賃が減少している中、貴重な収入源となります。本当にありがとうございます。

感染拡大防止の為、パンフレットを手渡しではなく郵送させて頂いたにも関わらず新規でご注文を頂いた方もいらっしゃり感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も皆様に楽しんでいただけるようなキャンペーンをしていきたいと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



京都光彩の会 利用者インタビュー

皆様に京都光彩の会のことをもっと知っていただくために、各事業所の利用者の方にインタビューを行いました。
今回インタビューを受けてくださったのは、朱雀工房の卒業生と、かれん工房の利用者さんです！

京都市朱雀工房

吉田拓生さん 京都市朱雀工房を卒業して、まもなく一年（大規模商業施設勤務）にインタビューを受けていただきました。

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されることになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

【吉田さん】

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

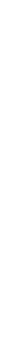
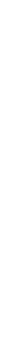
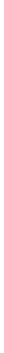
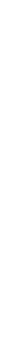
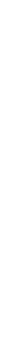
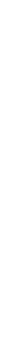
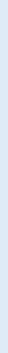
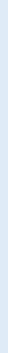
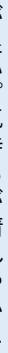
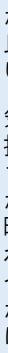
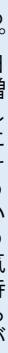
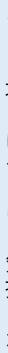
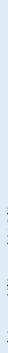
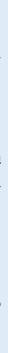
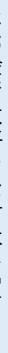
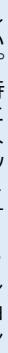
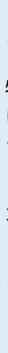
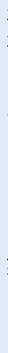
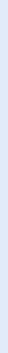
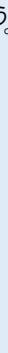
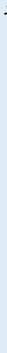
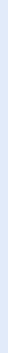
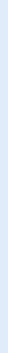
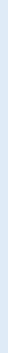
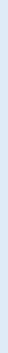
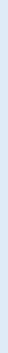
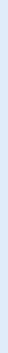
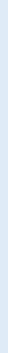
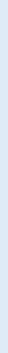
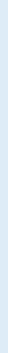
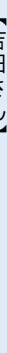
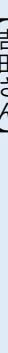
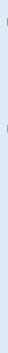
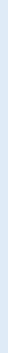
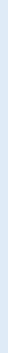
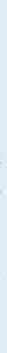
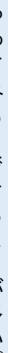
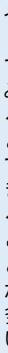
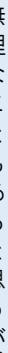
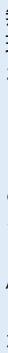
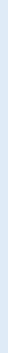
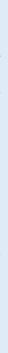
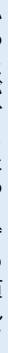
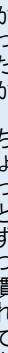
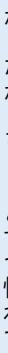
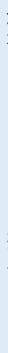
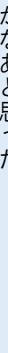
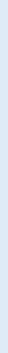
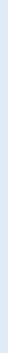
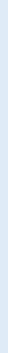
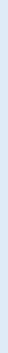
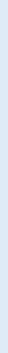
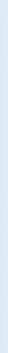
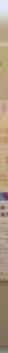
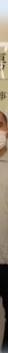
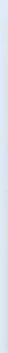
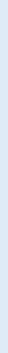
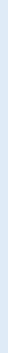
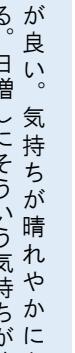
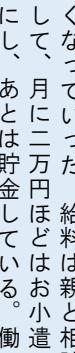
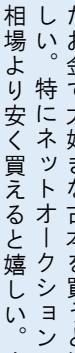
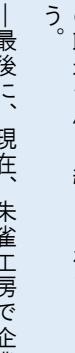
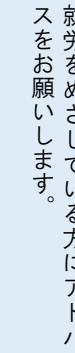
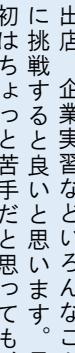
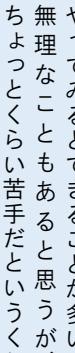
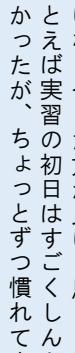
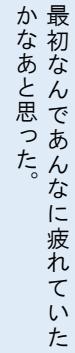
【吉田さん】

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。

吉田さんは、事業所説明会（毎月第3木曜に実施）参加を機に通所されるようになりましたね。説明会に参加された経緯、その頃の吉田さんの日常生活について教えてください。



ワークステーションかれん工房

かれん工房では、「何事にも一生懸命、笑顔が素敵なAさん」と、「いつも真面目で全力投球！のBさん」のお二人に、快くインタビューを受けていただきました。

Q1

普段どのような作業に従事されていますか？

Aさん

所内作業が多いですが、配食、清掃などの所外作業もしています。

Bさん

所内作業ではお菓子詰めの作業が多いです。所外では清掃をしています。

Q3

作業で心がけている事、気を付けている事はありますか？

Aさん

衛生面です。手洗いを行い、清潔を保つことです。

Bさん

妥協しないことです。例えば少しの痛みがあってもちゃんと拾う、隙間なく拭いて丁寧に掃くなどです。

Aさん

コロナ禍で、この先どうなるかわからないことに不安があります。

Q5

作業でどんなことが大変と感じますか？

Bさん

特にありません。体調が優れない時はしんどいけれどそのようなことはこれまでほとんどありません。

Q2

作業の中でも「配食」「清掃」について、どんなことをされていますか？

Aさん

炊飯、調味料の計量、副菜作り、食材の下ごしらえ、盛り付け、洗い物等を行います。

Bさん

場所によって行う作業が異なります。中京区社会福祉協議会さんの部屋の掃除機かけ、鮮魚卸店での窓ふき、駐車場のゴミ拾い、コインランドリーの掃き掃除、モップ掛けなどです。

Q4

作業の中でやりがいを感じる事はありますか？それはどのようなときですか？

Aさん

かれん工房で作った副菜を家でも作ったことです。お弁当に持ってきたこともあります。かれんに通所したことで家族の役に立ててうれしかったです。

Bさん

所内作業ではお菓子詰めの作業が多いです。所外では清掃をしています。

Q6

かれん工房で働いて良かったと思うことはありますか？また自身にとってどのような場所ですか？

Bさん

一般就労をする自信がなく働けませんが、ここで働いている事は良かったと思います。大切な場所です。

Aさん

変化に弱い所や体調の波があったりしますが、それに配慮してもらっていてありがたく感じています。

かれん工房では他にも所内作業や自主製品制作（主にビーズ）を行っています。関心のある方はお気軽にお問い合わせください！



次回「秋号」、「冬号」では

- ・西山高原工作所
- ・グループホーム
- ・支援センターなごやか

掲載予定です。お楽しみに！

京都光彩の会後援会のご報告とお礼

『精神障がいのある人たちが、ふつうの市民として、地域で暮らし、働き、社会に参加していくことを支援する』ことを目的に各事業の運営や計画実施を行っていきたいと思います。

趣旨にご賛同いただき、後援会にご加入いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のお気持ちを受けて職員一同、今年度も事業運営に邁進してまいりたいと思います。

また今後も新規に法人の活動にご賛同いただき、ご支援いただける方々のご加入も隨時承っておりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

●今回ご加入いただいた皆様●

小倉 純 様 土江田 曜子 様 中川 慶子 様
保田 美幸 様 匿名2名

編集後記

利用者大募集!!

就労 移行支援 就労 繼続支援B型

京都市朱雀工房、西山高原工作所、ワーカステーションかれん工房では上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

広報委員会 委員

田中 稔一(支援センター「なごやか」)
都竹 桃子(ワーカステーションかれん工房)
高橋 恒明(京都市朱雀工房)
中村 美恵(支援センター「なごやか」)
松岡 芽以(グループホーム賀陽・山ノ内・光)

せみの鳴き声、入道雲、突然の雨、まだまだ寝苦し
い日が続きます。早く涼しくなってほしいと願うばかりです。
今年は2020東京オリンピックが開催されています。コロナ禍ではじまりましたが、連日、日本選手の活躍がニュースを賑わしています。柔道、ソフトボール、野球、卓球などまだまだあります。柔道、ソフトボール、野球、卓球などまだまだあります。みんなの推しの競技や選手はありますか?

さて、春号は各事業所の取り組みをご紹介しました。今回、朱雀工房の卒業生の方とかれん工房の利用者さんにインタビュー形式でお聞きしています。それぞれの気持ちや今のあり方などを聞かせていただけたでしょう。第二弾もあります。ホームページでは法人の魅力がつまっていますので是非、のぞいてみてください。期待!(中村)

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai, Inc.

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター1F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより
発行:京都光彩の会 広報委員会
発行責任者:中條 了
印刷:西山高原工作所